

感染トピックス 2020/10 月号

2020/10/12 発行 感染管理委員会

すっかり秋らしくなりましたが、これから流行する冬季感染症をどう乗り越えるかが課題です。体調不良となるスタッフが増えてくると思いますが、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症との鑑別も難しくなるため体調管理を怠らないようにしましょう。当院でも新たに様々な対策を実施していますので、協力をお願いします。



● インフルエンザと COVID-19 の違い

日本感染症学会提言 今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて 2020 年 8 月

	インフルエンザ	COVID-19
症状の有無	しばしば高熱を呈する	発熱に加えて味覚・嗅覚障害
潜伏期間	1~2 日	1~14 日（平均 5.6 日）
無症状感染	10% ウイルス量少ない	数%~60% ウイルス量多く感染力が強い
ウイルス排出期間	多くは 5~6 日	10 日以内
ウイルス排出ピーク	発症後 2~3 日後	発症 1 日前
致死率	0.1%	3~4%（国内は 2%以下）
ワクチン・治療薬	あり	開発中
感染経路別対策	飛沫・接触対策	飛沫・接触対策 エアロゾルを産生する （吸痰・挿管・吸入） 処置時は空気感染対策

無症状な方もあり、マスクが必要な理由となります。

出勤時の検温チェック



出勤・帰宅時のマスク着脱は、更衣室で



今までの職員感染事例を検討した結果、「休憩時・食事時、更衣室での会話」が多かったようです。そのため、職員の感染リスクを少しでも減らすために、マスクの運用を変更しました。廃棄物は 8 分目交換が原則のため、各自気づいた方が率先して片づけましょう！

手作りエプロンの提供



磐田南地区のボランティアの皆さんの手作りです

クリーンパーティションの設置



HEPA フィルターにて、無塵・無菌空気を作ります。
粒径 $0.3\mu\text{m}$ の粒子に対し、99.97%以上の粒子捕集効率があります。
コロナウイルスが含まれている飛沫は、大体は $5\mu\text{m}$ 程度とされているため、有効であると言われています。
今後、診察室・病室で使用していきます。